



ICT施工に理解を深めた

木
土
生
桐
協
建
群
県

関係者ら約40人参加

ICT活用施工現場見学会

県土木事務所と群馬建設業協会桐生支部（山藤浩二支部長、山藤組代表取締役）は8月30日、桐生市でICT活用施工現場見学会を開催した。見学会には同事務所職員、支部会員のほか、県太田土木事務所職員や桐生林事務所職員42人が参加した。



説明を聞く参加者

日、桐生市大田地区で、山藤組代表取締役の山藤浩二氏（山藤組）から、利根川水系砂防事務所が発注したH28濁沢第二砂防堰堤工事現場においてICT活用施工現場

参加者は同現場の監理技術者を務める佐々木勇二氏（山藤組）から、縦断面などを活用した工事概要やICT活用施工について説明を受けた後、衛星データを解析し位置情報を算出するGNSS-IBOX、GPSとGLONASS衛星のデータを受信するGNSSアンテナ、本体・ブーム・バケットの動きを計測するチルトセンサー、チルトセンサーによる傾斜データから重機の位置や方向およびバケットの刃先位置を算出し、設計データ

との誤差をリアルタイムで表示するコントロールボックス（マシンガイダンス機器）を取り付けたバックホーやICT機器が取り付けられた土木用振動ローラー、砂防ソイルセメント（INSEMC材）製造プラント「SR1メサイア」、3Dレーザーサイアー、3Dレーザーキャナー（GLS-2000）のデモンストラクションなどを見学した。

この後、現場事務所に移動し、3次元測量結果のビューワーデータをモニターで見ながら、3次元起工測量や3次元設計データ作成、3次元出来型管理など施工管理について同社のサポート業務およびマシンガイダンス機器やICT機器の取り付けを行ったシューティーエス（長野県上田市）の社員による説明を受けた。